

FMSE-C501 への移行手順について

平素は、弊社製品をご利用いただき誠にありがとうございます。
従来機種 FMSE-C411, FMSE-C421, FMSE-C431 から新機種 FMSE-C501 へ移行する際は、以下の手順をご参照ください。

1. 移行方法について

認証データの移行を SLB 認証装置形式のエクスポート/インポート機能で行います。
その他の装置系の設定値は、1 項目ずつの手入力になります。
次の設定で運用されている場合は、初期ユーザーパスワード、初期 PIN の変更状態が移行できません。

- Secure Login Box Utility → 認証サービス管理 → サービス設定 → パスワードポリシー
初回ログオン時のユーザーパスワード変更を必須とする
- SMARTACCESS/Premium → 環境設定 → Felica 汎用カード管理 → 基本設定 → PIN の設定
PIN の詳細設定 → 初回認証時の PIN 変更を必須

SLB 認証装置形式のエクスポート/インポート、バックアップ/バックアップデータ復元で移行できるデータ項目については、FMSE-C501 添付のマニュアルの次の箇所をご参照ください。

Secure Login Box 管理者ガイド

- └ 付録
- └ データ項目別のバックアップ一覧

2. システム基本管理の各種設定の記録

Secure Login Box Utility からシステム基本管理にログインして、次の設定の中で、引き続き、FMSE-C501 で使用する設定をメモします。

ネットワーク管理 → ネットワーク、Windows 識別情報
システム管理 → 電源管理、E-MAIL、ディスク管理、UPS 連携、SNMP 情報

3. 認証サービス管理の各種設定の記録

Secure Login Box Utility から認証サービス管理にログインして、次の設定の中で、引き続き、FMSE-C501 で使用する設定をメモします。

サービス設定 → 認証モード、運用設定、パスワードポリシー、バックアップ、NTP

4. メンテナンスの各種設定の記録

Secure Login Box Utility からメンテナンスにログインして、次の設定の中で、引き続き、FMSE-C501 で使用する設定をメモします。

メンテナンス画面 → ■ ログ設定 → ログトレース、ログレベル

次の設定項目は、画面上には表示されません。設定時に控えた値を確認してください。

メンテナンス画面 → ■ システム情報 → Secure Login Box ID
メンテナンス画面 → ■ クライアントアクセス制御 → クライアントアクセス制御情報※

※クライアントアクセス制御情報は、V6.0L22 rel.02 以降にある設定項目です。

5. 移行元情報のバックアップ

以下の手順で、移行するユーザー認証データのエクスポートファイルを作成します。

- ① Secure Login Box Utility から認証サービス管理にログインして、「ユーザー」を選択します。
- ② 「エクスポート」ボタンを押下します。「SLB 認証装置のフォーマットでエクスポートする」を選択します。
- ③ エクスポートするデータの検索を行います。
- ④ 移行するユーザーを選択して、「エクスポート」ボタンを押下して、エクスポートファイルを作成します。
この時、1度にエクスポートできるユーザーは2500人までです。
2500人を超えるユーザーをエクスポートする場合は、2500人以内のグループ単位で検索して、エクスポートするとオペレーションが簡単になります。
2500人を超えるユーザーの場合は、上記、エクスポート操作を繰り返してください。

6. FMSE-C501 の初期セットアップ

- ① Secure Login Box 管理者ガイドを参照して、初期セットアップをします。
- ② ①のセットアップで、「2. システム基本管理の各種設定の記録」で記録した情報を設定します。
- ③ Secure Login Box Utility から認証サービス管理にログインして、「3. 認証サービス管理の各種設定の記録」で記録した情報を設定します。
- ④ Secure Login Box Utility からメンテナンスにログインして、「4. メンテナンスの各種設定の記録」で記録した情報を設定します。

7. 移行先への移行元データの復元

以下の手順で、取得したエクスポートファイルをインポートします。

- ① Secure Login Box Utility から認証サービス管理にログインして、「ユーザー」を選択します。
- ② 「インポート」ボタンを押下します。
- ③ 「SLB 認証装置のエクスポートファイルをインポートする」を選択します。
- ④ 「参照…」ボタンを押下します。
- ⑤ アップロードするファイルの選択で、「5. 移行元情報のバックアップ」で取得したエクスポートファイルを指定します。
- ⑥ 「インポート」ボタンを押下します。

⑤～⑥は、移行するエクスポートファイルすべてに対して、繰り返し行います。
本オペレーションは、装置間連携設定後でも可能です。

本オペレーションは、副代表装置を設定する前の代表装置もしくは代表装置として設定する装置で実施してください。

8. SMARTACCESS/Premium の対応 OS・認証デバイスについて

SMARTACCESS/Premium の対応 OS・認証デバイス一覧は以下を参照してください。

SMARTACCESS (スマートアクセス) <<http://www.fmworld.net/biz/smartaccess/>>

SMARTACCESS サービス&サポート<<http://www.fmworld.net/biz/smartaccess/support/>>

対応 OS・認証デバイス一覧

以上

従来機種の Secure Login Box の設定値をメモする際は、次の表をご活用ください。

Secure Login Box の 設定項目			設定値	
システム 基本 管理	ネットワーク管理			
	ネットワーク	装置名称		
		IP アドレス		
		ネットマスク	. . .	
		デフォルトゲートウェイ		
		デフォルトドメイン	【FMSE-C501 への移行は不可】	
		プライマリ DNS サーバ	【FMSE-C501 への移行は不可】	
	Windows 識別情報	ワークグループ名		
		装置の説明		
		WINS を有効にする	【FMSE-C501 への移行は不可】	
		WINS アドレス	【FMSE-C501 への移行は不可】	
	システム管理			
	電源管理 シャットダウン スケジュール 【注 1】	平日	実行チェックあり / 実行チェックなし	
		日時	AM / PM :	
土曜日		実行チェックあり / 実行チェックなし		
日時		AM / PM :		
日曜日		実行チェックあり / 実行チェックなし		
日時		AM / PM :		
E-MAIL		SMTP サーバ	. . .	
	メールアドレス 1			
	メールアドレス 2			
	メールアドレス 3			
	From アドレス			
	件名			
ディスク管理 整合性チェ ックスケジ ュール	平日	実行チェックあり / 実行チェックなし		
	日時	AM / PM :		

	【注1】 【注2】	土曜日	実行チェックあり / 実行チェックなし
		日時	AM / PM :
		日曜日	実行チェックあり / 実行チェックなし
		日時	AM / PM :
	UPS 連携	UPS と連携する	チェックあり / チェックなし
		MODBUS を使用する	チェックあり / チェックなし
		いずれかを選択 単独装置として動作する 代表装置として動作する 連携装置として動作する	単独装置 / 代表装置 / 連携装置
		代表装置の IP アドレス (連携装置を選択している場合)	. . .
	SNMP 情報	SNMP マネージャ IP アドレス	. . .
	認証 サ ー ビ ス 管 理	ユーザー	
グループ			
サービス設定			
認証モード		いずれかを選択 ID 付き認証モード(1:1 認証) ID 無し認証モード(1:N 認証)	(1:1 認証)・(1:N 認証)
		上記 1:N 認証を選択した場合 ID 無し認証を使用するグループ名	
		ユーザーパスワードの使用を許可する。	チェックあり / チェックなし
運用設定		モバイル運用機能を有効にする	【FMSE-C501 への移行は不可】
		ユーザー情報のダウンロードを許可する。	チェックあり / チェックなし
		ユーザー情報の有効期限	
		シングルサインオンを許可する	【FMSE-C501 への移行は不可】
		Secure Login Client での各メニューの使用を許可する	【FMSE-C501 への移行は不可】
		アプリ登録/変更	【FMSE-C501 への移行は不可】
		ID/パスワードの入力	【FMSE-C501 への移行は不可】
		ユーザー情報設定	【FMSE-C501 への移行は不可】
プロパティ		【FMSE-C501 への移行は不可】	
		Windows のログオン画面へ切り替え時にパスワード認証を行う	【FMSE-C501 への移行は不可】

		パスワード	【FMSE-C501 への移行は不可】
パスワードポリシー		初回ログオン時のユーザーパスワード変更を必須とする	チェックあり / チェックなし
		ユーザーパスワード認証を連続して失敗したときに、そのユーザーをロックする	チェックあり / チェックなし
		ロックするまでの連続失敗回数	
		ユーザーパスワードに有効期限を設定する	チェックあり / チェックなし
		ユーザーパスワードの有効期限	
		有効期限切れ警告開始日数	
		ユーザーパスワードの有効期限が切れたユーザーをロックする	チェックあり / チェックなし
		過去に利用されたユーザーパスワードは利用不可とする。	チェックあり / チェックなし
		参照する履歴世代数	
バックアップ		・1日1回 ・1週間に1回 ・装置起動時 (いずれかを選択)	1日1回 1週間に1回 装置起動時
		曜日(1週間に1回 選択時のみ)	曜日
		時分(装置起動時 選択時以外)	時 分
		バックアップ時に個別ユーザー情報を作成する。	チェックあり / チェックなし
共通アプリ		設定するグループ	【FMSE-C501 への移行は不可】
		登録済みのアプリ	【FMSE-C501 への移行は不可】
NTP 設定 【注3】		NTP による時刻同期を有効にする。	チェックあり / チェックなし
		NTP サーバアドレス 【注4】	. . .
メンテナンス	メンテナンス画面		
	ログ設定	ログトレース	チェックあり / チェックなし
		ログレベル	1 / 2 / 3
	システム情報	Secure Login Box ID	セキュリティ上、設定した値を表示させていません。設定時にメモした情報をご参照ください。クライアントIDはSecure Login Box IDを設定すると自動で割り当てられます。
クライアントアクセス制御	クライアントアクセス制御情報	セキュリティ上、設定した値を表示させていません。設定時にメモした情報をご参照ください。	

注1：FMSE-C431/C4D1/ C501/C5A1 では24時間表示になります。(例 AM12 → 00時)

注2：FMSE-C411/C4B1 にはありません。

注3：FMSE-C431/C4D1/ C501/C5A1 ではシステム基本管理のNTP設定で行います。

注4：FMSE-C431/C4D1/ C501/C5A1 ではIPアドレスの指定のみになります。

従来、ホスト名で指定されていた場合は、IPアドレスに変換して設定してください。